



科研費 平成26～30年度 文部科学省科学研究費補助金
新学術領域研究 (研究領域提案型)

脳内身体表現の変容機構の理解と制御

Understanding brain plasticity on body representations to promote their adaptive functions

第2回公開シンポジウム

『モデルベースト・リハビリテーションの構築に向けて』

平成29年10月14日 (土) 12:00～17:40
慶應義塾大学三田キャンパス・南校舎ホール

【プログラム】

概要説明

領域代表・太田順 (東京大学 人工物工学研究センター)

シンポジウム1：身体意識とモデルベースト・リハビリテーション

「身体意識の解明と応用」 今水寛 (東京大学 大学院人文社会系研究科)

「計算論的神経リハビリテーション」 井澤淳 (筑波大学 システム情報系)

「身体意識の解明とモデルベースト・リハビリテーションを結ぶVR技術基盤」
稲邑哲也 (国立情報学研究所／総合研究大学院大学)

基調講演

「機能回復の神経科学」 伊佐正 (京都大学 大学院医学研究科)

シンポジウム2：運動制御とモデルベースト・リハビリテーション

「身体-環境の相互作用と姿勢制御」 高草木薫 (旭川医科大学)

「ロボット技術がもたらすモデルベースト・リハビリテーション基盤」
大脇大 (東北大学 電気通信研究所)

「神経疾患による運動障害の病態とリハビリテーション」
花川隆 (国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター)

18:00～ 技術討論会@『山食』 (1932年創業の三田キャンパスの伝統のある学食)

参加無料 (技術討論会参加費2000円)

参加申し込み (WEB登録)

<http://embodied-brain.org/events>

開催事務局：

慶應義塾大学医学部精神神経科 前田貴記

2017symposium2nd@gmail.com

